

実証実験WGの紹介

実証実験の推進について

IA *japan*

2015年9月4日

一般財団法人 インターネット協会

IoT推進委員会

IoT実証実験WG 座長 真野 浩

- IoTの普及により顕在化するビジネスユースケースを、インターネット協会会員の持つ社会リソースと相互協力のもと、社会実験を通じて、その有効性を実証する。
- 実証実験による知験をもとに、IoTビジネスのベストプラクティス、ホワイトペーパーを取りまとめ、広く会員各位のビジネス創出を推進する。

- 実証実験 WGでは、以下の活動により推進する。
- 共同実験プロジェクト
 - WGメンバーより実証実験計画を公募し、会員による実証実験を行う。
 - 実証実験結果は、報告書として取りまとめる。
- アイデアソン・ハッカソン
 - 実証実験及びその結果を用いたアイデアソン・ハッカソンを実施する。
- 国際標準化
 - 実証実験結果をもとに、国際標準化への寄与を行う。

実証実験プロジェクト実施手順

申込み

- 目的、概要、日程、予算、参加者、成果



審査承認 (委員長・副委員長、各WG主査)

- 社会性、実現性、独自性



公開

- IA-Japan会員からの参加募集



実施

- 中間報告



実験結果とりまとめ

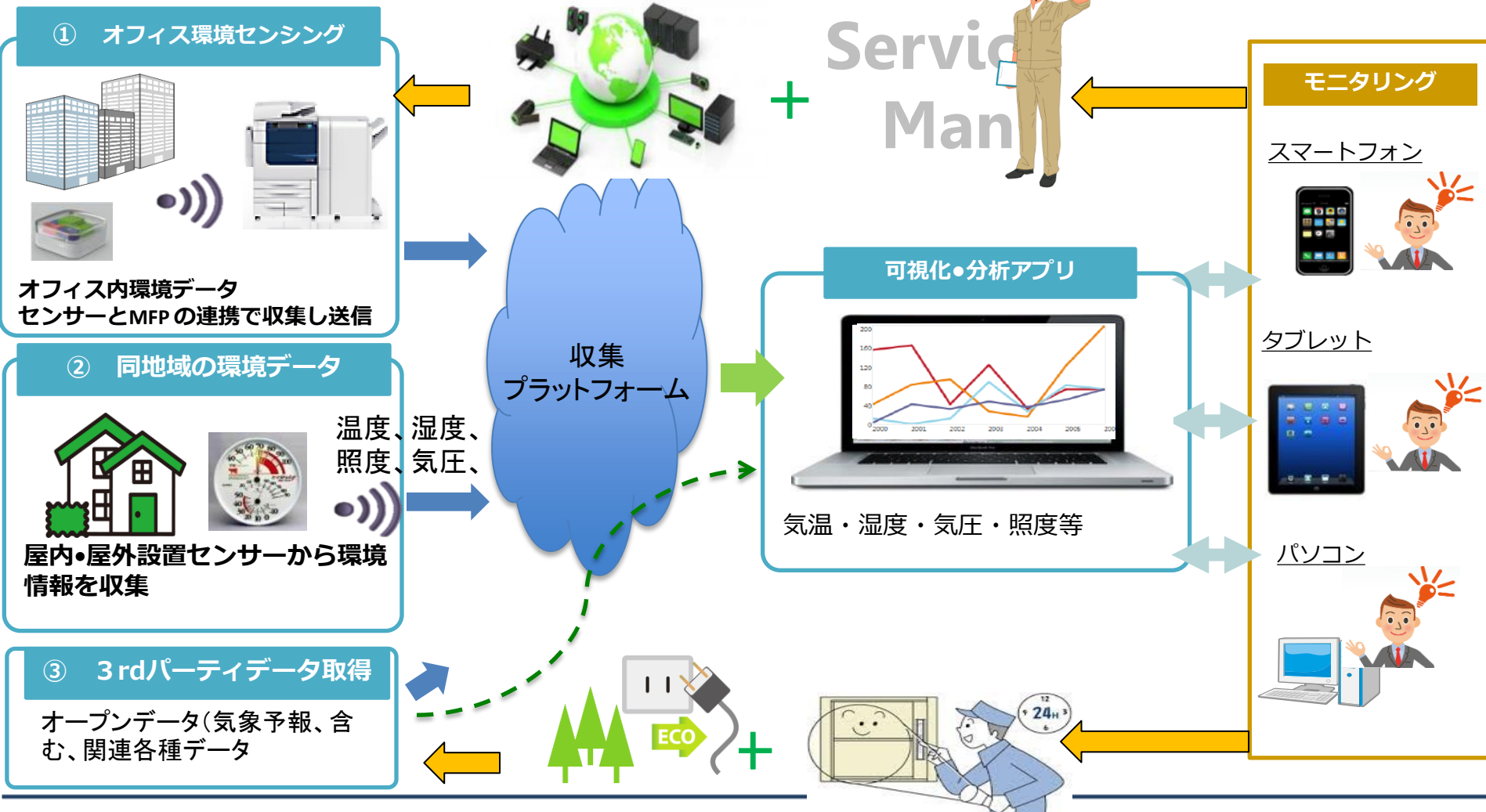
- 報告、公開

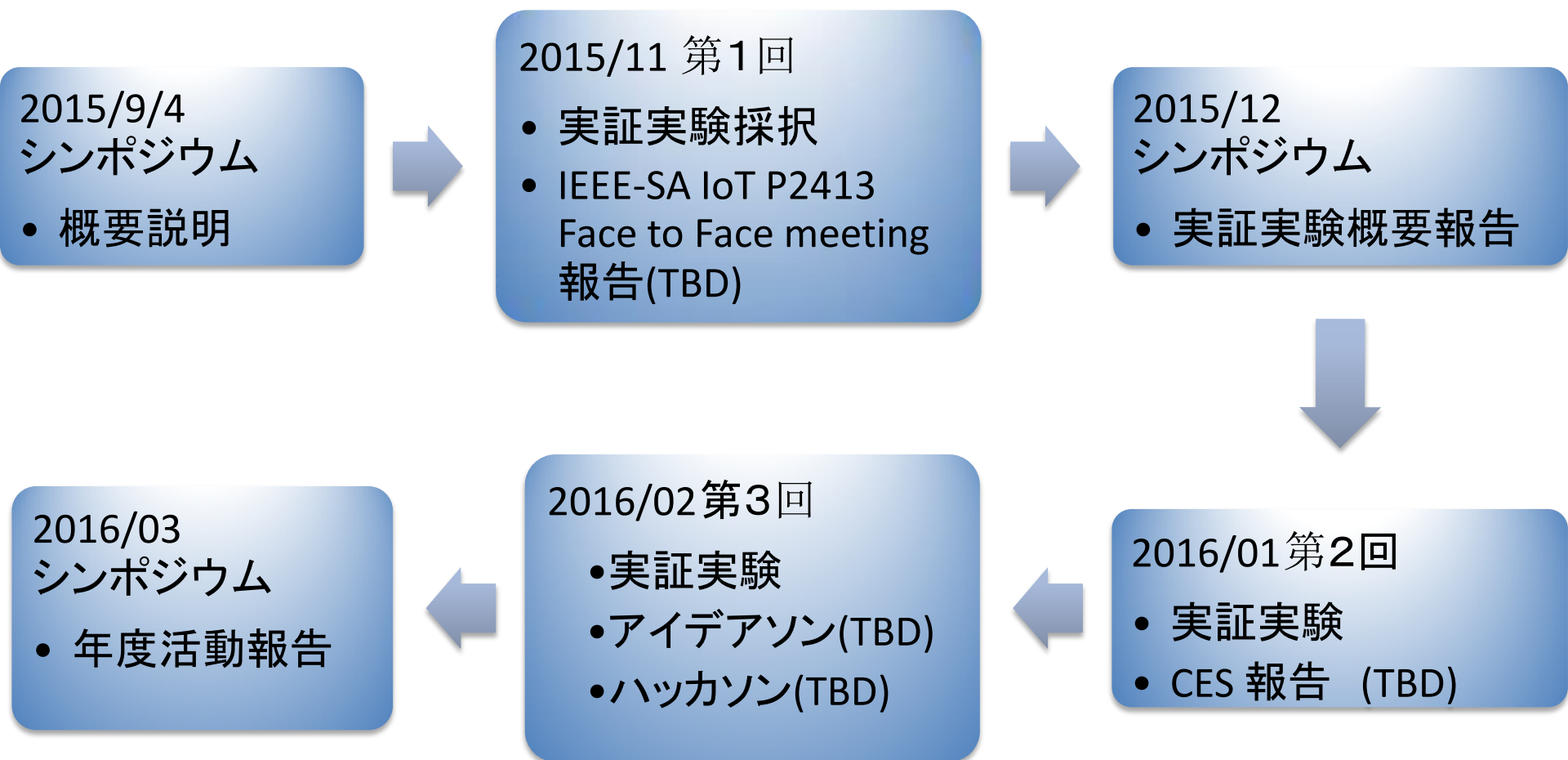
- 以下の各項目を提出
 - 実験名称
 - 提案者名 (会員3社以上)
 - 目的
 - 概要
 - 日程
 - 予算
 - 成果

- メンバー資格
 - インターネット協会会員
- メンバーの業務
 - 実証実験の計画、実施、報告書の策定
- 実験成果の扱い
 - インターネット協会会員に報告書を公開
 - 必要に応じて、協会外へ公開
- 費用
 - 実証実験にかかる個別費用は、WGメンバーで拠出
 - 協会での共益業務は、協会予算により拠出

実証実験提案事例 1号

住、職環境モニタリング実験





IA japan